トビムシ（ヒメツチトビムシ）

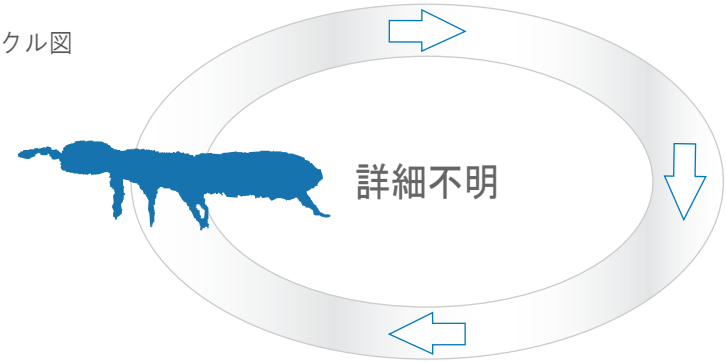
特徴と生態

- 成虫体長…3 ㎜以下
- 体は細長く、腹部は 6 節から成り、第 4 節の腹面には跳躍器があることから跳ぶことができます。しかし、一般に跳ぶのは敵に遭遇した時に行います。変態は行わず、脱皮を行うことで成長し、成熟後も脱皮を繰り返します。
  多くが雑食性で、落ち葉などの腐植物質や菌糸、バクテリア、花粉などを食します。
  日本の森林土壌の 1 ㎡あたりに 4 万匹以上のトビムシが生息していると言われています。

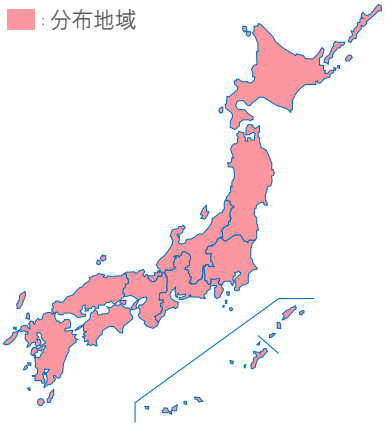
分布と発生場所

- 日本全国に分布し、土壌で生活しています。

- サイクル図



- 分布図



- 発生時期

被害

- 屋内では、植木鉢や風呂場や流し周りなどの湿った箇所で大量発生し、不快感を与えることがあります。

駆除

- 生息しにくい環境をつくることが大事です。湿度の高い風呂場や流し周りなどは風通しをよくし、乾燥させるようにしましょう。また、土壌や腐敗植物質で発生しますので、床面に溜まった汚れや腐敗した植物、刈り取った雑草など発生源となるものを除去してください。その他、植木鉢などを屋内に持ち込まないようにしましょう。
  発生が多数見られ薬剤処理を行いたい場合は、市販のエアゾールタイプの殺虫剤で駆除が可能です。ただし、駆除後は発生源の除去を行い、再発生を防止しましょう。

ECC Environment Control Center 株式会社 環境コントロールセンター
Copyright(C)2000-2012 Environment Control CenterCo.,Ltd.